

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 高山工業高等学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和6年1月27日(土) 10:00~12:00
- 3 開催場所 高山工業高等学校 体育館及び会議室
開催にあたり、委員による卒業作品展視察を実施した
- 4 参加者

	会 長	作倉 康也	高山工業高等学校 育友会長
	副会長	住田 慶太郎	千島町内会 副会長
	委 員	中野谷 康司	高山市教育委員会 教育長
		見山 政克	高山市立日枝中学校 校長
		多田 仁	高山市立花里小学校 校長
		中田 和子	高山商工会議所 女性会 会長
		岡田 明子	飛騨木工連合会理事
			飛騨産業株式会社 代表取締役社長
	学 校 側	岩島 義則	校長
		足立 宏	教頭
		三田 真弓	事務長
		大坪 博孝	教務主任
		高橋 佑介	生徒指導主事
		新家 邦男	進路指導主事
		門前 雅人	工業部長

5 会議の概要(協議事項)

(1) 卒業作品展について

意見1: 卒業作品展では、説明する生徒が、目的やアイデアについて自分の言葉で話していた。昨年度よりも、説明が分かりやすくコミュニケーション能力が向上していることが分かった。

意見2: 自分の作品に満足していると回答する生徒が多いことから、課題研究は、ものづくりが満足感に変わる良い取組であることが分かった。

意見3: 卒業作品展には子供等も楽しめる作品が多いので、様々な方面にも案内を出した方が良い。今年度は案内をどの程度配布したか。

⇒ 飛騨地区の中学生及び近隣の花里小学校や千島町内、協力企業等に配付した。

意見4: 課題研究等で小学生への調査等、小学校で協力できることがあれば依頼してほしい。

(2) 学習活動について

意見1：主体的で対話的な深い学びについて、本校ではどのように取り組んでいるか。

⇒ 課題研究等のものづくりの実習は本校の典型的な取組である。生徒は対話しながら自分たちで考え、より良い作品を作り上げている。また、実習の良いところを活かし対話的な授業改善に取り組んでいる教員もいる。

意見2：長期課題や課題テストの一貫性や多様化する進路目標に対応するために導入する学習アプリの活用に賛同する。個別最適化された学び等、効果的に活用してほしい。

意見3：学習アプリの費用負担はどうなるのか。

⇒ 他の教材と同じように保護者負担となる。これまで使用していた長期課題の教材や模擬試験等を学習アプリで代用することを進め減額に努めていく。

(3) 生徒指導及び教育相談について

意見1：本校の生徒は、自ら挨拶することができている。他の生徒の様子を見ても、明らかに良い方向に変化していることが分かる。

意見2：生徒自身が身なりについてセルフチェックをする取組や、生徒会提案の校則の取組など、自律心が育成されていることが分かる。

意見3：個別の教育支援計画を中学校から引き継いで年度当初に対応したり、いじめに対して組織的に対応したりすること等、今後も生徒に寄り添った対応が良い。

意見4：コミュニケーションが苦手な生徒への対応として、来年度から県の「高等学校における演劇等ワークショップ事業（以下「演劇WS」）の指定校になったことは良い。そのような生徒は中学校でも増加している。

⇒ 来年度、地域の小中学校の教員に対して演劇WSの見学の案内を予定している。

(4) 進路指導について

意見1：県内や飛騨地区への就職者が昨年度より増加したことは、地元企業にとって良い傾向である。現在、飛騨の企業では、人手不足のため実施したいことができない状態である。今後も地元への就職数が増加することを期待する。

意見2：地元就職者の増加のデメリットとして外部の刺激を受けない人材の増加が懸念される。高山に居ながらも世界と競争できる人材を育成するため、本校で企業と協力した学びを大切にしてほしい。

(5) 学校運営について

意見1：中学3年生の進路希望を見ると明らかに本校への進学希望が増加している。県内を見ても専門高校への進学希望が増加している。この傾向は良いことである。

意見2：きめ細やかな生徒に対する指導や地域連携等の取組が、本校への進学希望者や地元就職者を増加させる成果につながっているため、来年度も継続すると良い。

意見3：地域からの依頼の増加が、本校の教育活動の時間を圧迫しているとはどのようなことか。

⇒ 地域からの依頼も増加することは、生徒の活躍の場が増加することにつながる。しかし、依頼について生徒の課題研究の時間等で実施したりしている。そのため、教育効果を考慮し精選することが必要である。

6 会議のまとめ

- ・第3回学校運営協議会では、今年度の学校運営や各分掌での取組んだ諸活動等について理解を得られた。
- ・来年度実施する演劇WSの取組や学習アプリの導入について賛同を得られた。